

学生寮で集団生活を送る学生さんへ

～入寮前に髄膜炎菌ワクチン接種の検討を～

若年層が、寮生活などの集団生活を送るにあたり、

髄膜炎菌性髄膜炎感染症に感染するリスクが高いことをご存知ですか？

髄膜炎菌性髄膜炎感染症って？

髄膜炎菌は、深刻な感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）を引き起こす菌であり、健康な人の鼻やのどの粘膜にも存在し、咳やくしゃみでうつります。好発年齢は、乳幼児と10代後半と高齢者で、多くの人が長い時間を一緒に過ごす集団生活を送る寮生はハイリスクとなります。

また、合宿など多くの時間をともに過ごす場合にも同様のリスクがあります。たった一人から多くの人へ、菌が感染していく可能性があるのです。

感染するとどうなるの？ 症状が急激に重くなり命に関わることも・・・

髄膜炎菌感染症の怖いところは、

「気づきにくい」「進行が早く死亡率が高い」「後遺症が残る確率が高い」



という点です。

初期症状は、発熱、頭痛、吐き気など風邪に似ているため、風邪と自己判断し、早期に適切な治療を受けにくい病気です。その一方で、症状の進行が極めて早く、呼吸困難・けいれんなどを起こし、命に関わるほど重症になったり、後遺症が残る危険性があります。風邪かなと思って様子を見ているうちに対処が遅れてしまうと、本人の命に関わるだけでなく、まわりへの感染の拡大を引き起こしてしまいます。

予防法は？

ポイント

ワクチン接種による予防法

髄膜炎菌感染症を予防するためのワクチンがあります。髄膜炎菌による感染症は、気づくのが難しく、治療が遅れる可能性が高いため、ワクチンの接種によってあらかじめ予防しておくことが重要です。一回ワクチンを接種すると、数年間は予防効果が続き、髄膜炎菌による感染症を抑えることができます。

ポイント

ワクチン接種するならいつ？

寮生活がスタートしてからしばらくは、環境の変化や慣れない集団生活によるストレスや疲れで免疫力が下がることも予想されます。期待に満ちた新生活を、不安なくスタートさせるための準備のひとつとして、寮など集団生活を始める4週間前までにワクチンの接種を検討・計画を立てましょう。かかりつけ医や最寄りの医療機関 (<https://www.imd-vaccine.jp/search/>) に相談してください。

～かかりつけ医や最寄りの医療機関に相談してみよう～

- 春休み、新学期、入寮など新しい集団生活が始まる前
 - 外出や集団での活動機会が増える夏休みや運動部の合宿前
 - 海外渡航、海外留学前
- (よくわかる髄膜炎菌 SANOFI より改編)
キャンパスライフ健康支援センター